

# 米倉教公の週間為替市場見通し

4/10 日週号

ドル/円予想レンジ 110.90 - 112.20 円

## 『地政学的リスクが高まるかが注目点!』

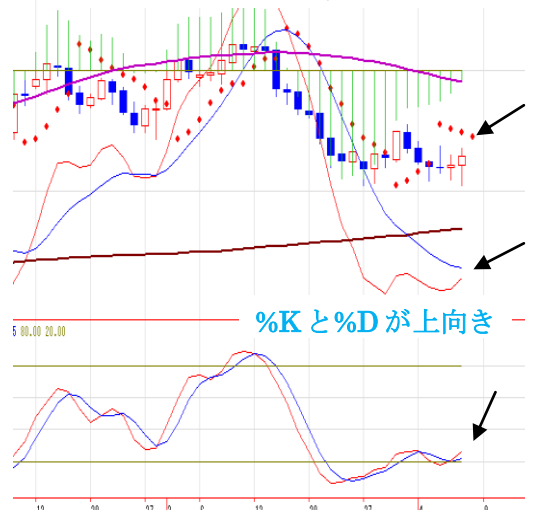
### ■前週の市場動向：前週のドルは一進一退の展開！

前週のドル/円週足では、小陽線となったが、前々週のロウソク足の『はらみ線』となった。週明けは、米長期金利が低下するなか、ロシアの地下鉄で爆発と伝わると、リスク回避の円買いが強まった。4日も、株安を嫌気した売りが続いたが、米2月貿易収支が良好な結果となったことでドルが切り返す場面もあった。5日は、強いADP雇用統計を受けてドルが上昇する場面もあった。しかし、FOMC議事録で『一部メンバーは株価が非常に高いと見ている』と伝わると株価が失速しドル売りが優勢となった。6日は、米軍がシリアに空爆を開始したとの発表を受け、中東情勢の悪化を嫌気しドルの上値を抑えた。7日は、米3月雇用統計で非農業部門雇用者数が予想を大きく下回ったことからドルは失速した。しかし、押し目を拾う動きも見られ、直ぐに反発した。その後、ダドリー米NY連銀総裁が『バランスシート縮小は利上げにわずかな中断しかもたらさない可能性』と発言すると、利上げペース鈍化への過度な懸念が後退し、米長期金利の上昇とともにドル買いが強まった。

### ■今週の注目点：地政学的リスクが高まるかが注目点！

今週は重要経済指標が14日の米CPIや米3月小売売上高となり、経済イベントの少ないうえ、14日は世界各国がイースターで休場となり流動性が低下する。前週に米軍がシリアを空爆したことで、地政学的リスクが高まる可能性がある。北朝鮮では、11日に北朝鮮最高人民会議開催や15日は金日成元国家主席の生誕105周年となる。一部では、今週にも核実験を実施するのではとの見方もあり、その際は緊張感が高まりやすい。一方で、米軍のシリア空爆効果などで北朝鮮が自粛するようなら、リスク選好の動きにつながる。13日から米企業の1-3月期決算発表される。堅調な企業決算が確認されると金融市場のサポート要因となる。日足一目均衡表の111.14円の攻防念頭で、上値目処は、5日高値111.45円や3月31日高値の112.19円となり上抜けるとダブルボトム上抜け。下値目処は3月27-28日安値110.07-15円、トランプ相場の半値押し109.91円が目途となる。

1/07 L=111.10 40. ドル/円：日足 終値：111.10 円  
方向感の乏しい展開！



### ★今週の気になる出来事

4月10日から5月4日まで水星逆行期に入る。この期間の特徴は、ボラティリティ（価格変動幅）が高まるが、トレンドが出にくい期間となる。また、オシレータの機能が劣化するため、オシレータに頼ると、大きなミスにつながりやすい期間とも言える。また、逆行から順行に戻る3日前後は円高になりやすいというアノマリーもある。昨年（2016年）のゴールデンウィークでも水星逆行期であったが、急激な円高とその後の円安進行というような値動きになりやすい。この期間中は、出来るだけ短い時間でのトレードが良い。

### ■テクニカル的な見解：方向感の乏しい展開となっており相場が悩んでいる状態！

シカゴIMM投機筋の4月4日付け対米ドルの差し引き持ち高は、円は前週の▲53,181から▲45,800へと売り持ちは前週から減少した。パラボリック（パラメータ：0.08、0.3）では、4日から売りが継続中。10日のSARは111.74円までの下落で買い転換となる。MACD（パラメータ：12、26、9）では、デットクロスが継続だが、MACDがやや上向きになってきた。ストキャスティクス・スロー（パラメータ：14、3、3、20、80）では、%K：26.05、%D：21.45と売られ過ぎ域まで下落後緩やかに上昇中。75日線（紫線）は緩やかに下落基調。200日線（茶線）の108.8円の上に位置していることから、上昇基調は維持している。ロウソク足は、5日上十字、6日コマ、そして7日に前日ロウソク足を包む形で推移しており、市場に方向感が出ていない状況。週足では『はらみ線』となっており中期的にもトレンド出ず。

本レポートについての注意事項は巻末をご覧ください。必ずご確認ください。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。